



審議議案

12月
定例会
11/25 ~ 12/15

鴻巣市個人情報の保護に関する法律施行条例 鴻巣市立学校設置及び管理条例の一部を改正する条例

12月定例会は、11月25日から12月15日までの21日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和4年度鴻巣市一般会計補正予算(第9号)」など32件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・承認・可決しました。請願1件は不採択となりました。

また、最終日に、議員提出議案として1議案が上程されましたが、否決となりました。

条例の制定

鴻巣市個人情報の保護 に関する法律施行条例

問 鴻巣市個人情報保護条例は廃止とのことだが、主な変更点は。
答 個人情報ファイル簿の作成、公表が義務化され、保有個人情報の開示請求については、本人の委任による代理人も開示請求を行うことができるようになります。また、決定までの期間に關しては、正当な理由がある場合に延長できる期間も短縮されます。

問 個人情報ファイルとは具体的にどのようなものなのか。
答 一定の事務の目的を達成するために特定の保有個人情報を容易に検索できるように体系的に構成した情報の集合体です。

問 施行は令和5年4月1日となっているが、情報開示請求を5年3月20日にした場合の運用は。
答 施行前に請求した場合は、旧条例に規定する保有個人情報の開示、訂正及び利用停止については、従前の例という規定になつているため旧条例の廃止前に行われた開示請求、訂正請求、利用停止請求は、現行の条例における取扱いとなります。

条例の一部改正

行政手続等の利用に 関する条例の一部改正

問 電子申請や支払い方法は。
答 国が運用する「ぴつたりサービス」、埼玉県と県内市町村が共同で運営する「埼玉県市町村電子申請共同システム」があります。県の電子申請システムでは、電子納付はオンラインサービスとなり、現在本市では申込んでいません。このシステムのオンライン納付は、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済があり、この方法で使えるのは12ブランドとなっています。

問 電子納付が使えるようになる今後の見通しは。
答 オンライン手続が可能な申請等の調査を庁内で行っています。県の電子申請では講座の申込みやイベントの申込みなどもあるため、手数料等を求める手続やオンライン納付の必要性を調査し、県のオンラインサービスの申込み等を検討したいと考えています。



条例の一部改正

常光小・鴻巣中央小を 統合する条例の一部改正

問 行政が工夫をして、小規模校でも学校を続けることはできないか。



答 以前から、近くの学校の子どもたちと一緒に林間学校へ行くなど、小規模校の教員はいろいろな工夫をしてきました。最近では、ICT教育環境が整ったことから、学習者用端末を使って、通信でほかの学校の子どもたちと交流できるようになりましたが、実際に話すとでいろいろ感じるものがあると思います。常に少ない人数の中で過ごしている子どもたちは、自分の立ち位置や友達関係が固定化してしまうこともあるため、適正規模、適正配置を進めていくことがよいと考えています。

問 全国的には、廃校跡地を有効的に活用している例があるが、どのように考えているのか。
答 地域の人からの意見を参考にしながら、庁内検討委員会等で考えていきたいと思っています。

補正予算

川里地域小中一貫 校整備事業

問 具体的な内容は。

答 基本構想・基本計画の策定に向け、新設予定地の事前調査、データ分析等による各種調査・検討、新校の施設整備に向けた方針等の検討支援、学校規模、施設の構成、施設整備計画、空間構成と設置及びスケジュールの技術的な支援、ワークショップの手法を用いた市民意見の集約等を行います。

補正予算 不妊治療助成事業

問 こうのとりの助成金事業について、不妊治療が保険適用となつたメリットは。

答 一定レベルでの不妊治療の標準化ができたことで、治療の方法や進め方が分かりやすくなり、治療を始めやすくなったこと、また、社会全体に不妊治療への理解が広がっていくことが大きなメリットであると考えています。



補正予算 交通安全施設整備事業

問 道路区画線の整備基準は。

答 道路法に基づき道路管理者が設置するものとしては、白線のセンターライン、外側線、矢印のマーク、グリーンベルト、止まれ等の表示があります。道路交通法に基づき交通管理者が管理するものとしては規制を伴う黄色のセンターライン、制限速度の表示、停止線、横断歩道等となります。また、塗り替えの時期については、一般社団法人全国道路標識・標示業協会が発行している「路面標示ハンドブック」に5段階の目視評価ランクが設定されており、塗り替え基準3以下になった場合には、塗り替えが望ましくいとされています。



補正予算 橋りょう維持事業

問 橋りょう維持事業の工事内容は。

答 原馬室冠水橋の荒川左岸側の護岸修繕となります。建設当時のからの護岸が、木製の横矢板と木ぐいできており、経年劣化

が進む中、7月の大雨で護岸が浸食されました。今回の本復旧工事では、割栗石を鉄線の中に入れるかごマット工法となり、大きな石が入ったかごマットを積み上げて、浸食を抑える工事となります。橋りょうは平成14年6月に建設されましたが、その後の点検では異常はありませんでした。

補正予算 生きものの等調査業務委託

問 過去の調査結果から課題はあったのか。

答 課題は3点あり、1点目は、必要に応じて調査地点の追加、あるいは見直し等を行い、環境づくりと並行して餌生物調査の継続が必要な点です。2点目は、貝類、甲殻類の占める割合が大きく、魚類の割合が低い傾向があり、水田や水路から水がなくなる時期に、避難できる場所を確保し、魚類を再生させる必要がある点です。3点目は、放鳥した個体は、多くが放鳥後しばらく放鳥拠点を中心としたエリアで過ごすことが確認されているため、河川敷を含めた放鳥拠点施設周辺の環境づくりの推進が必要という点です。

補正予算 環境保全型農業直接支払交付金

問 対象の農家数は増えたのか。

答 当初予算要求時点では、取組農業者を5人と想定していましたが、取組予定者が3人増加し、8人の取組予定者となっています。さらに、取組面積についても、当初予算要求時点では1041アールでしたが、430アール増加し、1471アールとなっています。

補正予算 公共交通維持事業

問 デイゼル車の購入ができなかったことでマイナス補正になっているが、今後のデイゼル車の購入の見通しは。

答 メーカーとしての販売見通しは立っていないとのことですが、更新を進めなければならぬので、来年度予算に計上し、早期に購入したいと考えています。



を検討する時期なのか。

答 買換えの目安としては、走行距離100万km、年数は10年から15年と考えています。走行距離と年数両方を確認しながらとなりますが、100万kmに到達するほうが早いので、100万kmを設定しています。

補正予算 水道配水管新設及び改良工事

問 水道配水管工事等の場所、金額は。

答 水道課では、施工時期の平準化を図るべく年度内に契約ができる、新年度の早い段階で工事に着手できる債務負担行為による工事発注を行なっています。配水管新設工事として、箕田地内の工事1か所、八幡田地内の新設工事及び布設替工事1か所、下谷、常光地内の新設工事及び布設替工事1か所になります。金額の内訳は箕田地内の工事が拡張費として約2000万円、八幡田地内の工事が拡張費として約1000万円、改良費として約2550万円、下谷、常光地内が拡張費として約2670万円、改良費として約6840万円となります。

請願

議第1号 食の安全を守るため、福祉施設や教育機関にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める請願（不採択）

賛成討論

ゲノム編集とは、生物に元々備わっている遺伝子を一部破壊し、特定の性質をもつ作物や生物を生み出す技術です。ゲノム編集された作物、食品は、家畜や健康への影響は未知数です。食用では予期しない毒素やアレルギーの生成、レベルの変化の可能性があります。国内外の専門家からゲノム編集トマトについて安全性や環境に与える影響からも危険との警告が出ています。開発会社がトマト苗を日本の福祉施設、教育機関に無償配布および配布する予定を公表しましたが、身体の変調や環境に影響が出てからでは遅いのです。予防原則に基づき、このようなことが行われないようにすることは当然と考えることから、賛成します。

